(2022.12)
(情報公開文章用)

作成日　2026 年 5 月 24 日
第 5 版作成

2020 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日の間に岡山ドクターヘリ要請があった患者さんへ

―「日本航空医療学会ドクターヘリ全国症例登録システム(JSAS-R)への登録・調査・分析に関する研究」へのご協力のお願い―

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者　川崎医科大学　救急医学　教授　椎野　泰和
研究分担者　川崎医科大学　救急医学　准教授　高橋　治郎
川崎医科大学　救急医学　准教授　宮本　聡美
川崎医科大学　救急医学　准教授　井上　貴博
川崎医科大学　救急医学　講師　上野　太輔
川崎医科大学附属病院　救急科　チーフレジデント　岡根　尭弘
川崎医科大学　救急医学　臨床助教　大谷　健介
川崎医科大学　救急医学　臨床助教　藤本　晃充
川崎医科大学　救急医学　臨床助教　佐久間　隆史
川崎医科大学　救急医学　臨床助教　森本　洋輝
川崎医科大学　救急医学　臨床助教　新田 真規

１．研究の概要

ドクターヘリが要請された全症例を把握し、搬送方法、救急車の搬送に要した時間、ドクターヘリの飛行、患者さんの重症度や診断名、患者さんの転帰に関する検討・フィードバックをすることでドクターヘリの品質の管理を行うためです。

２．研究の方法

1）研究対象者

2020 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日の間に消防機関または医療機関から岡山ドクターヘリ要請があった方を研究対象とします。

2）研究期間

2020 年 5 月 15 日～2029 年 3 月 31 日

3）研究方法

2020 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日の間に消防機関または医療機関から岡山ドクターヘリ要請があった方で、研究者が診療情報をもとに搬送に関わる時間、患者さんの状態、治療内容、診断名のデータを選び、ドクターヘリの活動全体を把握し、解析いたします。

4）使用する情報の種類

情報：年齢、性別、ドクターヘリ要請不応需、搬送に関わる時間、各時点での血圧、脈拍、意識などの患者さんの状態、診断、治療内容等

5）外部への情報の提供

この研究に使用する情報は、以下の共同研究機関に提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

日本航空医療学会
東海大学医学部外科学系救命救急医学

6）情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学救急医学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7）研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2028 年 6 月 30 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

＜問い合わせ・連絡先＞

川崎医科大学附属病院　救急科
氏名：高橋　治郎
電話：086-462-1111　内線 25511（平日：9 時 00 分～16 時 00 分）
ファックス：086-464-1044
E-mail：j.takahashi@med.kawasaki-m.ac.jp

＜研究組織＞

研究代表機関名　日本航空医療学会、東海大学
研究代表責任者　日本航空医療学会　理事長　猪口貞樹

共同研究機関

都道府県	参加施設（ドクターヘリ基地病院）	登録責任者

北海道	旭川赤十字病院	小林　巖
北海道	医療法人 渓仁会 手稲渓仁会病院	奈良　理
北海道	市立釧路総合病院	豊原　隆
北海道	市立函館病院	武山 佳洋
青森県	青森県立中央病院	花田　裕之
青森県	八戸市立市民病院	今　明秀
秋田県	秋田赤十字病院	藤田　康雄
岩手県	岩手医科大学附属病院	森野　豪太
山形県	山形県立中央病院	武田　健一郎
福島県	福島県立医科大学附属病院	伊関 憲
宮城県	仙台医療センター	山田　康雄
宮城県	東北大学病院	工藤　大介
新潟県	新潟大学医歯学総合病院	本多　忠幸
新潟県	長岡赤十字病院	宮島　衛
群馬県	前橋赤十字病院	中村　光伸
栃木県	獨協医科大学病院	小野　一之
茨城県	水戸済生会総合病院	村岡　麻樹
茨城県	独）国立病院機構 水戸医療センター	堤　悠介
埼玉県	埼玉医科大学総合医療センター	中村　元洋
千葉県	君津中央病院	北村　伸哉
千葉県	日本医科大学千葉北総病院	原　義明
東京都	杏林大学医学部附属病院	山口　芳裕
神奈川県	東海大学医学部付属病院	守田　誠司
福井県	福井県立病院	谷崎　眞輔
山梨県	山梨県立中央病院	岩瀬　史明
静岡県	順天堂大学医学部附属静岡病院	柳川　洋一
静岡県	総合病院 聖隷三方原病院	早川　達也
長野県	ＪＡ長野厚生連 佐久総合病院	田中　啓司
長野県	信州大学医学部附属病院	今村　浩
岐阜県	岐阜大学医学部附属病院	中村　浩大
愛知県	愛知医科大学病院	渡邉　栄三
愛知県	藤田医科大学病院	船曳　知弘
三重県	伊勢赤十字病院	説田　守道
三重県	三重大学医学部附属病院	今井　寛
富山県	富山県立中央病院	松井　恒太郎
石川県	石川県立中央病院	明星　康裕
滋賀県	済生会滋賀県病院	越後　整
大阪府	大阪大学医学部附属病院	竹川　良介
兵庫県	公立豊岡病院組合豊岡病院	永嶋　太
兵庫県	兵庫県立はりま姫路総合医療センター	田口　裕司
兵庫県	兵庫県立加古川医療センター	当麻　美樹
和歌山県	和歌山県立医科大学附属病院	井上　茂亮
奈良県	南奈良総合医療センター	植山　徹
奈良県	奈良県立医科大学高度救命救急センタ	福島　英賢

	ー	
徳島県	徳島県立中央病院	川下　陽一郎
香川県	香川大学医学部附属病院	黒田　泰弘
香川県	香川県立中央病院	佐々木　和浩
高知県	高知医療センター	齋坂　雄一
愛媛県	愛媛県立中央病院	田中　光一
岡山県	川崎医科大学附属病院	椎野　泰和
山口県	山口大学医学部附属病院	鶴田　良介
広島県	広島大学病院	志馬　伸朗
島根県	島根県立中央病院	山森　祐治
鳥取県	鳥取大学医学部附属病院	上田　敬博
福岡県	久留米大学病院	高須　修
長崎県	独）国立病院機構 長崎医療センター	中道　親昭
佐賀県	佐賀県医療センター好生館	吉富　有哉
佐賀県	佐賀大学医学部附属病院	阪本　雄一郎
熊本県	熊本赤十字病院	奥本　克己
大分県	大分大学医学部附属病院	安部　隆三
宮崎県	宮崎大学医学部附属病院	落合　秀信
鹿児島県	鹿児島県立大島病院	中村　健太郎
鹿児島県	鹿児島市立病院	吉原　秀明
沖縄県	社会医療法人 仁愛会 浦添総合病院	米盛　輝武

３．資金と利益相反

この研究に関する資金は日本航空医療学会が負担し、このうち一部は厚生労働省委託事業「ドクターヘリ症例データ収集調査分析事業」より充当されますが、当院には資金の受入及び使用はありません。当院の中で使用する費用は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。